

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年10月9日時点)

露軍は、**ウクライナ東部・南部地域**での攻勢やウクライナ全土に対する**ミサイル・無人機攻撃**を継続。また、ウクライナ軍も無人機等による露領内への攻撃等を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

- 露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
 - : **死者最大25万人、死傷者95万人以上**(CSIS25年6月3日)
 - : **死傷者約100万人**(英国防省25年6月12日)
- 「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)
 - : **死者最大6~8万人、死傷者約40万人**(CSIS25年6月3日)
- 「ウ」市民: **死者13,883人、負傷者3万5,548人**(UN25年8月13日)

- 「ウ」軍総司令官は、戦闘に関わる露軍兵士は約**71.2万人**、前線の長さは約**1,250km**であり、露軍は「ウ」軍の**2倍の砲弾**を使用していると言及。また、露軍が夏季以降、**4~6人**からなる**小規模な攻撃部隊**を多数同時に用いて、峡谷や森林等の地形を利用しつつ、より「ウ」領土深くに浸透するために前進していると指摘(9月26日)
- 露国防省は、ドニプロペトROWSK州**ノヴォミコライウカ**、ザポリヅジャ州**オルヒウスケ**、同州**ノヴォイワニウカ**(9月19日)、ドニプロペトROWSK州**ベレソヴェ**(20日)、同州**カリニウスケ**(22日)、スーミ州**ユナキウカ**(26日)を解放と発表

- ゼレンスキー大統領は、露が「ウ」を停電させようとするなら、**露も停電することになるだろう**ということを露政府も知るべきである旨発言(9月27日)
- 露メディアは、露で初めてクリミアがガソリン価格を固定、販売制限を導入しているとし、**露ガソリン不足が通常供給量の20%**に達していると報道(9月29日)
- 「ウ」空軍は、露軍が**ハルキウ州**や**ポルタヴァ州**の**重要インフラ**を主な攻撃対象に、無人機×381機、ミサイル×35発で「ウ」を攻撃したと発表。「ウ」**国営ガス会社「ナフトガス」**取締役会長は、**ハルキウ州とポルタヴァ州のガス探掘施設**が攻撃を受け、大部分が損傷、一部損傷は致命的であると言及(10月3日)
- 露国防省は、クリミア半島のほか、露各州・地方や黒海等の上空で、「ウ」**無人機計251機**を撃墜したと発表。「ウ」軍参謀本部は、**ニジニ・ノヴゴロド州ジェルジンスク市の火薬工場**及び**クリミア半島フェオドシヤの石油施設**を攻撃し、火災や爆発を確認と発表。**ベルゴロド州**知事も**発電所**が損傷し、**停電が発生**と表明(10月6日)
- 「ウ」**国境から約2,000km**の距離に位置する**露チュメニ州**政府は、チュメニ市アンチピノ地区で**無人機×3機**が発見・無力化されたと表明。「ウ」メディアは、同市には**大規模な製油所**が所在と指摘(10月6日)

- ポーランド当局は、9日深夜から10日にかけて、**露無人機×19機**が**同国領空を侵犯**したと表明。露国防省は、ポーランド領内への攻撃の意図を否定しつつ、ポーランド国防省と協議を行う用意があると表明(9月10日)
- ゼレンスキー大統領は、**防空システム「ペトリオット」**について、**イスラエルから受領した1基**が既にウクライナにおいて1か月間運用されているほか、**秋に2基**受領する予定と発言(9月27日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☁ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☁ ウクライナ軍が占領した地域



国土地理院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等